

ひこねしちよ一の部屋



◀ひこねしちよ一
CHはこちら



ひこにゃんがついに任天堂スイッチのゲームになりました。④ボタンひとつの操作で簡単な(でも難しい)ゲームですので、是非ダウンロードして遊んでみてください。わるにゃんこ将軍も選べますし、様々な着せ替えのオプションなどもあって、ひこにゃんのアニメ化に一步近づいた感じがしますよ(・_・)

さて、このゲームや先日のひこにゃん絵本の製本化、そしてわるにゃんこ将軍そのものも、実は民間の投資で実現したものであり、彦根市としてはお金を出しておりません(PRの旅費等を除く)。民間活用でひこにゃん・彦根の知名度を向上することは、観光客や関係人口増、物産の販売促進のみならず、ふるさと納税や(株)四番町スクエア(第三

セクター)の売上に貢献するなど、市の財政の改善に直結する重要な手法となっています。もちろん要因は複合的ですが、ここ3年で2億から10.7億に増えたふるさと納税や、令和5年度に過去最高売上・最高益となった(株)四番町スクエアにこれら民間活用が大きく寄与しているのは事実です。

民間活用で最も大切なのは信頼関係です。基本、予算は無しか最小限で始めますので、交渉は誠意、熱意で進めています。ところが残念なことに、議員や報道による安直な批判で民間投資・事業が頓挫してしまったことが何度かあります。予算化された(大切な市民の税金を使う)事業について議会や報道でチェックを受けるのは当然のことですが、予算化もされていない民間活用についての批判は、いわ調れがなく、結果的に11万市民にとっての大きな損失につながることもあります。

ですから、皆さんも行政を監視いただくと同時に、議員や報道の在り方にも厳しい目を向けていただきたいと思います。その意味で、前安芸高田市長の功績は大きかったのではないのでしょうか。

和田 裕行



2025年開催／わたSHIGA輝く国スポ・障スポ ～あなたのチカラが、彦根のタカラ～

彦根市開催競技【弓道】

問 国スポ・障スポ総務課 ☎ 30-6141 FAX 23-2660

国スポ・障スポに向けてがんばる地元・彦根の選手にインタビューしました！

◎ 誰もが平等に戦える弓道

誰もが平等に「的」と「自分」とで向き合うことができるところが魅力です。他競技では「相手」対「自分」で戦いますが、弓道は的と自分の世界で戦います。近的では、28m先の直径36cmの的、遠的では60m先の直径1mの的に向けて弓を引くことは変わりません。

◎ 弓道との出会い

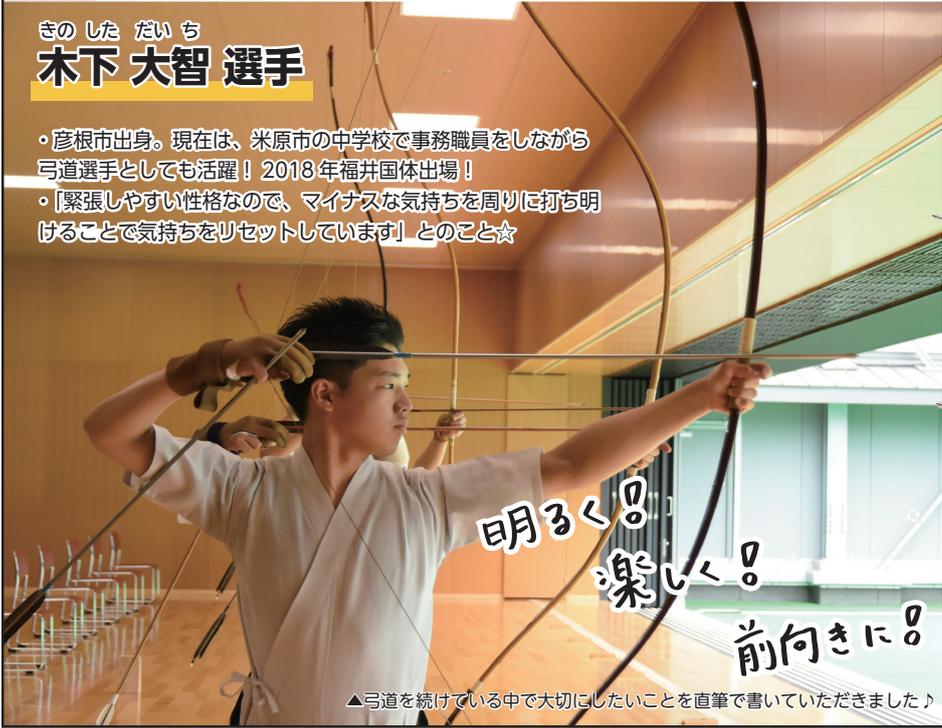
弓道は高校1年生から始めました。それまではスポーツをしたことがなかったので、未経験で始められるという点に惹かれました。

◎ “昨日の自分”を超えたい

成年の部で国スポの選手に選ばれることが目標です。目の前のことに一個ずつ取り組み、昨日の自分を超えていきたいです。

きのした だいち 木下 大智 選手

- 彦根市出身。現在は、米原市の中学校で事務職員をしながら弓道選手としても活躍！2018年福井国体出場！
- 「緊張しやすい性格なので、マイナスな気持ちを周りに打ち明けることで気持ちをリセットしています」とのこと☆



明るく！
楽しく！
前向きに！

▲弓道を続けている中で大切にしたいことを直筆で書いていただきました！

インタビュー詳細はこちらへ▼

フォローお願いします！

▲実行委員会 HP ▲X ▲Instagram